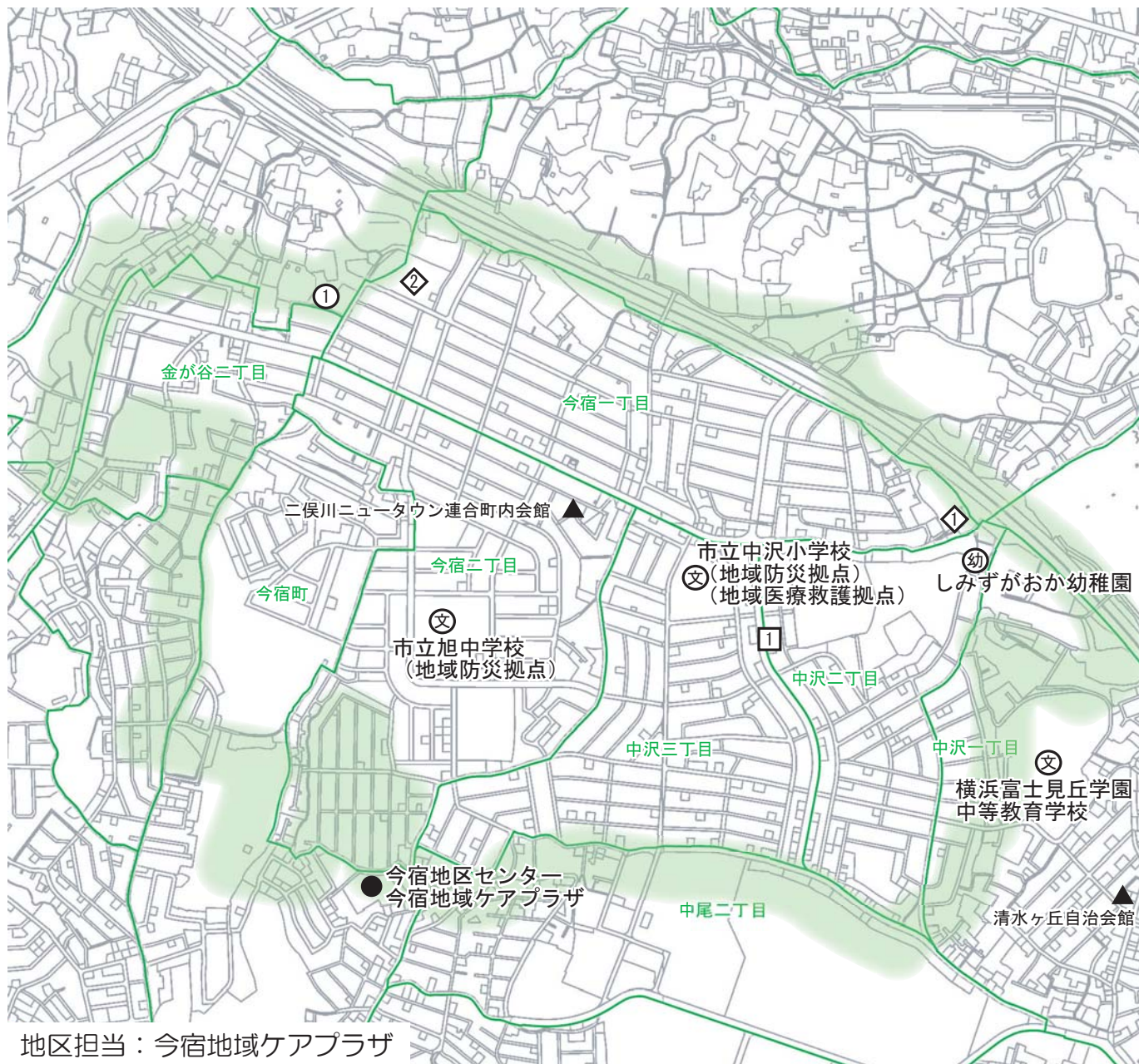


# 二俣川ニュータウン地区



二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県運転免許試験場と保土ヶ谷バイパスにはさまれた地域です。

開発から50年を迎えようとしており、現在、11町内会・3700世帯、その9割を戸建住宅が占めています。高齢者の単身・二人世帯が増大し、区内でも高齢化が進んでいる地域です。



地区担当：今宿地域ケアプラザ

## 地域の福祉保健施設

### 子ども

保育園

① ひまわり愛児園

### 障害

障害福祉サービス事業所 (日中活動)

□ いっぱい

### 高齢

特別養護老人ホーム

◇ 今宿ホーム

◇ 陽光苑 (H23. 4開所予定)



背景図：横浜市都市計画基礎調査

実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、およその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。



【地区周辺の地形】



地区データに見る特徴

- ・相鉄線二俣川駅から希望が丘駅間の北部丘陵部を開発して生まれた二俣川ニュータウンとその周辺地区からなります。
- ・区平均像よりも年齢構成のピークは5～10歳程度高い成熟化の進んだ町です。
- ・総人口は横ばいで、5歳階級別人口の推移から見ても、住民の流出入は少ない町であると想像されます。
- ・高齢化率は31.4%に達しています。

【総人口に対する5歳階級別人口の割合】



【世帯数及び人口】

	H17.3 (総数比)	H22.3 (総数比)	H17-22 増減比率
総世帯数	4,212 世帯	4,373 世帯	+3.8%
総人口	10,793 人	10,612 人	-1.7%
0～14 歳 (内、0～6 歳)	1,173 人 (10.9%) 518 人 (4.8%)	1,193 人 (11.2%) 461 人 (4.3%)	+1.7% -11.0%
15～64 歳	6,824 人 (63.2%)	6,085 人 (57.3%)	-10.8%
65 歳以上	2,796 人 (25.9%)	3,334 人 (31.4%)	+19.2%

住民基本台帳及び外国人登録人口合計（今宿一丁目・二丁目、中沢二丁目・三丁目、金が谷二丁目）

※人口データは町丁目単位までしか集計されていないため、一つの町丁目が複数の地区にまたがっている場合は、所属面積の大きい地区に含めて作成しています。したがって、上記データは地域の概況を把握するための参考であり、連合町内会の世帯数と異なります。

二俣川ニュータウン地区の活動情報

(平成22年9月末現在)

食事サービス

「萌ぎ会」

毎月1回 第2水曜日  
時間：12:00～14:00  
場所：ニュータウン連合町内会館  
70歳以上で独居・日中高齢者のみの世帯を対象に会食会を実施し、一部配食も行っています。

子育て地域サロン

「わいわいクラブ」

毎月1回 第3木曜日  
時間：10:00～11:45  
場所：ニュータウン連合町内会館  
未就学児と保護者を対象に気軽に集い、交流の場となっています。

配食サービス

「配食・木曜会」

毎週木曜日 夕食  
時間：16:00～  
65歳以上の高齢者等を対象に配食を実施しています。

自立支援サービス

ミニデイサービス「あかり」

毎月1回 第4水曜日  
時間：11:00～14:00  
場所：ニュータウン連合町内会館

65歳以上で独居・日中高齢者のみ世帯を対象に、転倒防止体操・歌・食事をはじめ、毎回多彩なアトラクションが企画されるなど、デイサービスが提供されています。

サロン

「サロン・あさひ」

毎月第1～4金曜日 4回  
時間：10:00～15:00  
場所：特別養護老人ホーム「今宿ホーム」

65歳以上の高齢者を対象に開設され、太極拳・健康体操・食事・麻雀・百人一首・俳句・手芸などが取り込まれ、気軽に集い、交流の場となっています。

生活支援サービス

「チョコットしえんたい」

申込受付：平日13:00～21:00  
65歳以上の要援助高齢者及び障害者を対象に、草むしり・庭木の剪定・包丁研ぎなど家事・生活支援を実施している。

生活支援サービス

「男の食彩NTグループ」

毎月1回 第2火曜日  
時間：9:00～12:30  
場所：今宿地区センター  
65歳以上の男性を対象に料理教室を開催している。

- ・ボランティア活動を中心に、掲載しています。
- ・地域には他にも様々な活動があります。
- ・活動についてのお問合せは、今宿地域ケアプラザ 旭区社会福祉協議会へお気軽にどうぞ。

### これまでの活動の目標

- 高齢者にやさしく、みんなが住みやすいまち
- 地域住民同士の交流のあるまち
- お互いに声を掛け合い、防犯に取り組むまち

### 活動の振り返り

#### ● 高齢者にやさしく、みんなが住みやすいまち

##### ① 高齢者の生活支援の仕組みづくり

「チョコットしえんたい」の発足

平成19年 3月、生活支援を目的とした有償ボランティア「チョコットしえんたい」が組織され、要援助高齢者・障害者世帯を対象に、草むしり・庭木の剪定・包丁研ぎ・家具の移動固定・障子や網戸の張替え等々、多岐にわたり生活支援が実施されるようになりました。年々利用が拡大しています。



(チョコットしえんたい)

##### ② 緊急時の高齢者の安全確保

平成20年度に、災害時の「支えあいカード」が高齢の希望世帯に実施され、383世帯が登録し、現在、町内会長・民生委員が保管しています。今後の活用が課題となっています。

##### ③ 高齢者地域交流の推進

「常設のサロン」の開設に向け検討が進められましたが、家賃などの経済的負担などの問題が解決できずに、開設に至っていません。

#### ● 地域住民同士の交流のあるまち

運動会・夏まつり・敬老のつどい・音楽祭・福祉まつり・もちつき大会をはじめ、様々な事業が連合町内会・地区社協などの地域団体や愛好会などにより活発に取り組まれ、住民の日常的な交流に一定の成果を挙げています。しかし、一方で地域活動に無関心な層との二極化が進んでいます。



(ニュータウン大運動会)



(夏祭り)



(敬老のつどい)

#### ● お互いに声を掛け合い、防犯に取り組むまち

町内会による防犯パトロールの実施、PTA・ボランティアによる登下校時の見守りが実施されています。

計画の目標

住んでよかったと思える街

- 安心・安全な街づくり
- ふれあいのある街づくり 「生活支援を拡大します」
- うるおいのある街づくり

具体的な取り組み

安心・安全な街づくり

- 「私の健康カード」を作成し、全世帯に配布し、利用を促進します。  
各住民が「健康カード」（かかりつけ病院・持病の有無・薬の服用状況・連絡先など）を記入し、カプセルに入れ、冷蔵庫に備え付けておくとともに、ラベルを玄関内の見えやすい場所に貼付しておく。これにより救急搬送などが迅速に行うことができます。
- 街の防災を見直すとともに、防災意識の向上をめざします。
  - 当面、防災懇話会を立ち上げ、街の防災を見直します。  
その上にたつて
    - イ．防災パンフレットを作成し、全戸に配布します。
    - ロ．防災における「自助」のあり方について講演・講習会を開催します。
    - ハ．救急車到着までの救急措置講習会を開催します。
    - ニ．町内会館をはじめ、地域へAEDの設置を検討します。
  - 災害時「支えあいカード」の利用・拡大を進めます。



(防災訓練)

ふれあいのある街づくり

- 常設のサロンを開設し、誰でも・いつでも立ち寄り、会話の弾む、居場所作りを進めます。
- ふれあい昼食・ミニディサービス・子育て支援などの拡充を図ります。
- 外出援助ボランティアを育成します。
- 異世代交流事業の拡充を図ります。
- 地域の足としてコミュニティバスの運行を検討します。
- 介護予防をめざし、元気な高齢者を育てます。
- 地域ケアプラザとの連携を進め、地域の福祉・保健活動を進めます。
- ボランティアを育成し、地域の活動に参加を促します。



(福祉まつり)

うるおいのある街づくり

- ニュータウン通り「银杏愛護会（仮称）」を設立します。  
緑化推進団体・公園愛護会・緑地愛護会・老人クラブとともに街の「花とみどり」景観を守ります。また、街路樹の落葉時の清掃ボランティアを育成し、「银杏愛護会（仮称）」を設立し、街路の景観を守ります。



(银杏並木)